



主催：一般社団法人とちぎ映画演劇文化協議会

萩生田宏治監督

月の海



矢野 陽子

岩瀬 晶子

金子 貴伸 堂免 一るこ 剣持 直明 本間 剛 伊原 農 山本 南伊 宮内 勇輝

監督:萩生田 宏治 撮影:伊藤 寛 照明:山本 浩資 録音・効果:西條 博介 編集:堀 善介 美術デザイン:愛甲 悦子 装飾:須坂 文昭 ヘアメイク:宮崎 智子
演出補:近藤 有希 音楽:さだ しゅんすけ スチール:藤記 美帆 プロデューサー:柳川 直隆 朝山 英明 原案・脚本:岩瀬 晶子

令和2年度文化庁文化芸術活動 継続支援事業 後援:豊島区 製作:ジャパンコンシェルジュ 配給:ビオン・エンターテインメント

誰もが向き合う可能性がある「介護問題」という現実を背景に、血のつながらない者同士が互いを想いあう愛のドラマ。原案は、社会的問題を扱いながらも笑って泣ける温かい作品を作り続けている劇団「日穩-bion- (びおん)」が、2016年、18年と上演し好評を博した舞台「月の海」。本作はその感動作から構想を得て新たに生み出された45分の中編映画。

監督は繊細な人物描写に信望が厚い萩生田宏治。本作のテーマに共感した映画界第一線のスタッフが集結し、築60年の一軒家を舞台に、映画の新たな可能性を切り拓く密室劇を紡ぎ出した。

脚本・主演は、劇団「日穩-bion-」主宰、宇都宮市出身でとちぎ未来大使の岩瀬晶子。近年は21年『MINAMATA』（ジョニー・デップ主演）に主要キャストとして出演し、国際的にも活動の場を広げている。出演者は、今作で「門真国際映画祭・最優秀助演女優賞」を受賞したベテラン女優・矢野陽子をはじめ、存在感のある演技が光る金子貴伸、宇都宮市出身の山本南伊と剣持直明（劇団だるま座）など、舞台を中心に活躍する実力派俳優が顔を揃え、リアルでユニークなキャラクターを作り出している。

今回、舞台版「月の海」と、その主人公の両親が出会った頃の姉妹作「星の砂」、そして栃木のかんぴょう農家を描いた「夕顔」の舞台映像とのセット上映を行います！

映画あらすじ：

都内の一軒家。結月静子は、5年前に家を出て行った夫（豊）の母・晴江と二人で暮らしている。晴江は3年前から認知症を患い、静子の名前すら覚えていない。行方不明の豊を探し徘徊を繰り返す晴江。静子は義母の介護に追われる日々を送っていた。そんなある日、近所で盗難事件が発生。怪我を負った窃盗犯・小暮大輝は結月家に身を隠すが、静子に発見される。叫ぼうとする静子の口を封じる大輝。必死に抵抗する静子。二人に近づいて行く晴江にも身の危険が迫る。しかし彼女が発した意外な一言から、結月家に一筋の光が差し込み始める…。



2022年6月25日(土)・26日(日)

アトリエほんまる

映画『月の海』公式サイト <https://tsukinoumi.com/>



お問合せ：
bion.cinema@gmail.com
080-4659-2008





舞台「月の海」 2018年上演

仕事を辞め結婚も諦めて実家で母の介護に専念している望月静は、認知症が進行した母の介護に限界を感じ、借家を明け渡すタイミングで老人ホームに入所させることを決心する。自宅での最後の時間を楽しんでもらいたいと願う静だったが、母は5年前に行方不明になった静の弟・豊に会いたいと言って困らせる。そんなある日、死んだと思っていた豊が突然帰って来る！？

出演：内浦純一、岩瀬晶子、堂免一るこ、宮地大介、宮内勇輝、藍原直樹、田川可奈美、本田和大、たんじだいご

舞台「星の砂」 2018年上演（宇都宮では未上演）

舞台「月の海」の主人公の両親が会った頃の物語。昭和44年（1969年）、高度経済成長の波に乗って勢いづいていた時代。蛸の名所だった住吉川の近くにある商店街に佇む質屋兼定食屋「ひさご」には、近所の常連客たちが集まり、井戸端会議に花を咲かせるのが日課となっている。ある日、蛸の研究をしている望月稔という男が、この町を訪ねてくる…。

出演：内浦純一、岩瀬晶子、剣持直明（劇団だるま座）、佐野美幸（劇団青年座）、贈人（ぎふと）、中島愛子（張ち切れパンダ）、森田学、井上希美、たんじだいご



舞台「夕顔」 2017年上演

宇都宮市出身の岩瀬、剣持、山本、中島が出演し、全編栃木弁の舞台。栃木県でかんぴょう農家を営む川上家の長女・夕子。夏の収穫期には、三女・苺子や隣人たちがやってきて作業を手伝うのが恒例となっている。そこに何年も音沙汰のなかった次女・夏実が突然姿を現す。久しぶりの再会を喜ぶ苺子たちと裏腹に、夕子だけは夏実と目を合わせようとしなかった…。

出演：岩瀬晶子、剣持直明（劇団だるま座）、山本南伊、中島愛子（張ち切れパンダ）、増澤ノゾム、平野貴大、宮内勇輝、吉田芽吹、たんじだいご



●タイムテーブル

2022/6/25 (土)				
セット	開始	終了	タイトル	上映時間
①	10:00	10:45	映画「月の海」	45分
	休憩			10分
	10:55	13:00	舞台映像「月の海」（トーク付き）	125分
②	13:30	15:10	舞台映像「星の砂」	100分
	休憩			10分
	15:20	16:15	映画「月の海」（トーク付き）	55分
③	16:45	17:30	映画「月の海」	45分
	休憩			10分
	17:40	19:40	舞台映像「夕顔」（トーク付き）	120分
2022/6/26 (日)				
④	10:00	10:45	映画「月の海」	45分
	休憩			10分
	10:55	12:55	舞台映像「夕顔」（トーク付き）	120分
⑤	14:00	14:45	映画「月の海」	45分
	休憩			10分
	14:55	17:00	舞台映像「月の海」（トーク付き）	125分
⑥	17:30	19:10	舞台映像「星の砂」	100分
	休憩			10分
	19:20	20:15	映画「月の海」（トーク付き）	55分

●鑑賞料金（1セットにつき）：

一般 1,500円 高校生以下 1,000円

●チケット予約：

◇クレジットカード決済（e-チケット発行）または当日精算

<https://emotional-tours.jp/tochigiculture>

◇電話：080-4659-2008



※席に空きがあれば当日券でもお入りいただけますが、なるべくご予約の上、ご来場下さい。

●劇場：アトリエほんまる 宇都宮市本丸町1-39

※アトリエほんまるには駐車場がありません。お車でお越しの方は近隣のコインパーキング等をご利用ください。



日穩・bion-次回宇都宮公演「月虹の宿」

2022年8月19日（金）19:00 20日（土）12:00/15:30

栃木県総合文化センターサブホール

柴田理恵さんをスペシャルゲストに迎えて、古びた温泉街の老舗旅館を舞台に繰り広げられる『命』をテーマにしたヒューマンドラマをお届けします。

出演：柴田理恵、内浦純一、岩瀬晶子、剣持直明（劇団だるま座）、伊原農（劇団ハイリンド）、中島愛子（張ち切れパンダ）、小林大輔、清水ひとみ（ワハハ本舗）、種村愛、たんじだいご

公演についての詳細は日穩-bion-HPで！

<http://bion.jp>

Twitter @_bion_

facebook.com/geki.bion



主催：一般社団法人とちぎ映画演劇文化協議会